



今こそ、みんなの力で **セントラル開発**



○豊かな自然と農業と共生するまち

計画的なまちづくりを進め、街並みと豊かな自然、そして田園風景との調和を図ります。



○人が集まる

夢のある楽しいまち

賑わいのある商業施設、移動に便利なバスターミナルを設け、役場など既存の公共施設との連携で、まちの『中心市街地』をつくります。



○高齢者と子どもに優しいまち

セントラルを中心としたコンパクトな『歩いて暮らせるまち』、『住み続けられるまち』をつくります。



○町民みんなの

未来を託せるまちづくり

セントラル開発は、今を生きる町民全体の利便性向上だけではなく、まちを持続的に発展させ、**豊かな町を次の世代に引き継ぐ、とても大切な事業**です。



○環境に優しいエコタウン

太陽光発電など再生可能なエネルギーを取り入れ、低炭素なまちづくりで地球温暖化防止に寄与します。



東郷町の、今を変える。

○鉄道駅がない。公共バスが少ない。 だから外出はいつも「車」で

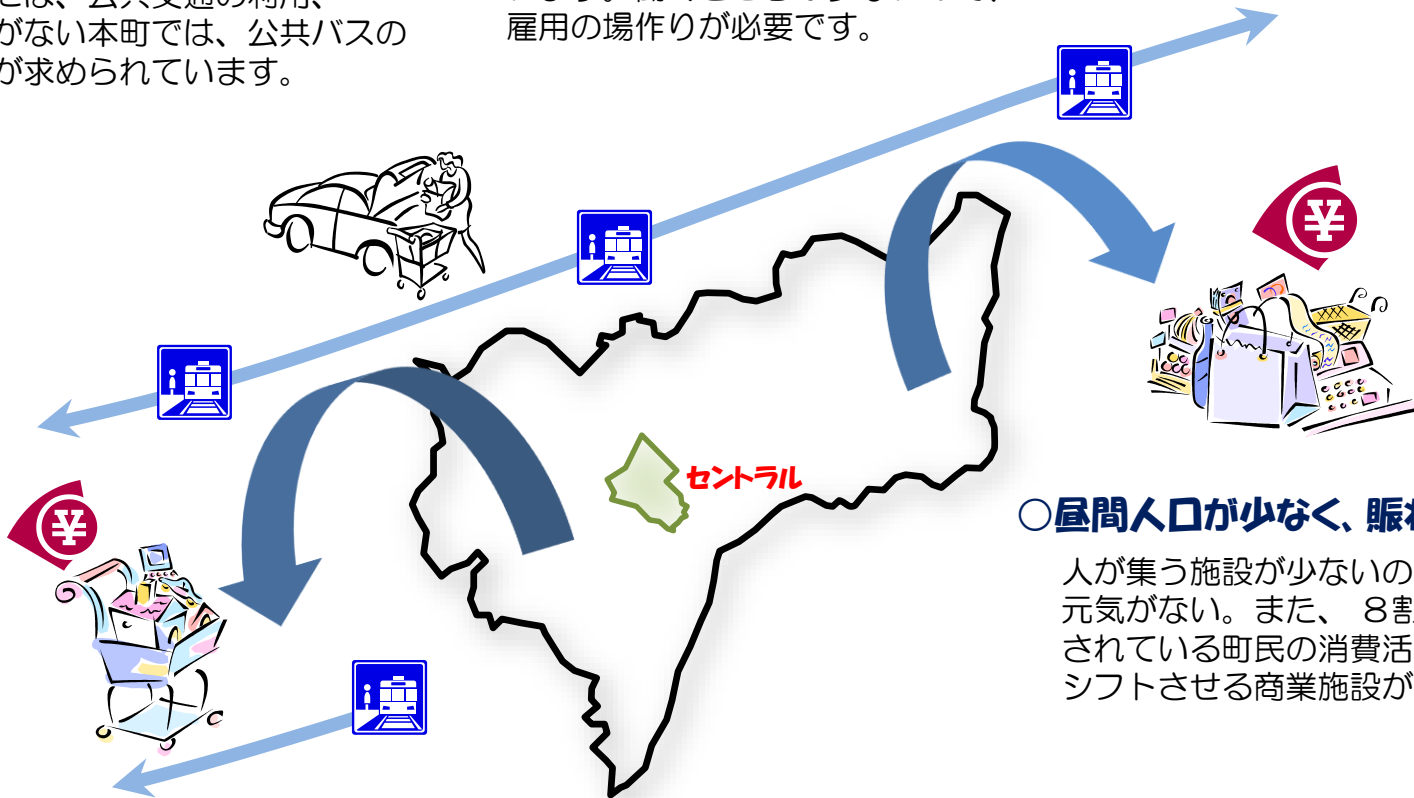
高齢化社会への対応、環境負荷の低減のためには、公共交通の利用、特に鉄道駅がない本町では、公共バスの利便性向上が求められています。

○働く場が少ない

少子高齢化で労働力が不足して、ワークライフバランスが求められています。働くところが少ないので、雇用の場作りが必要です。

○住み慣れた地域で、 住み続けることに不安

高齢化社会到来で、暮らしに必要なものが身近で間に合う「歩いて暮らせるコンパクトシティ」が求められています。



○昼間人口が少なく、賑わいがいい

人が集う施設が少ないので、昼間の町に元気がない。また、8割が「町外」でされている町民の消費活動を、町内消費へシフトさせる商業施設が必要です。

○東郷町らしさが、失われつつある

大都市に隣接しながらの田園風景、緑豊かな自然環境がなくなりつつあります。計画的な開発が求められています。

○町を持続的に発展させるためには 財政規模が小さくて弱い

高福祉を実現し、まちを持続的に発展させるためには、財政規模が小さく弱い。財政規模の拡大と財政基盤の強化が必要です。